

**2018年3月期 決算説明会・中期経営計画発表（質疑応答要旨）**

**1. 連結業績関連・その他**

Q) 経常利益が前中計目標値の6-7割程度に留まっている理由は？

A) 二つある。一つは地金価格、エネルギー価格などの市場環境の大幅な変化。もう一つは、タイ事業（UATH）の立ち上げのスピード、米国での自動車用パネル材事業（CUA）の立ち上げ遅れのため。

Q) 米国でのアルミニウム向け関税の影響は？

A) CUA、UWH等の北米拠点ではプラス。関税の影響を受ける見込みの中国材の動向には注視している。

Q) 地金調達においてロシア・ルサル社への制裁の影響は？

A) 代替となる調達先の目途は既に立っている。地金価格上昇は多少影響があるが、基本的に地金価格変動についてはお客様に転嫁できる。

Q) 2018年度は下期に利益が大きくでる想定だが、その根拠と原油高の影響は？

A) UATH、CUAでの生産性が徐々に改善し、下期中心に利益貢献が期待できる。原油高以外にも米国での保護貿易主義的施策など想定外のリスクが発生している。それらのリスクが当社想定範囲内で収まれば経常利益は公表値の200億円に届くと考えている。

**2. 主要海外子会社の状況**

Q) UATH、CUAの今後の見通しは？

A) UATHでは立ち上げ時に想定していなかった当該地域への中国製一般材の流入が起きた。今後は、より付加価値の高い製品販売に注力し、生産能力のさらなるアップを進める。

CUAではタスクフォースを結成し、立ち上げ時の混乱はかなり解消された。自動車材の品質・生産性向上に取り組んでいる。

Q) UATH の黒字化の時期は？

A) 2018 年第 4 四半期での営業黒字化を目指す。

### 3. 中期経営計画関連

Q) 中計の設備投資額が依然として多いが？

A) UATH 第 3 期投資、TAA の能力増強投資など、すでに決定済みの投資が中心。

新規投資は、既存の設備更新などの一般投資とのバランスを考慮しながら、さらなる成長に向けて事業機会があれば投資をする。

Q) 他のアルミニウムメーカーも自動車向けを強化しているが、差別化のポイントは？

A) 米国、日本、タイの 3 極体制におけるコスト競争力。特に米国の TAA は世界で最もコスト競争力があると認識しており、米国で一定のプレゼンスを持ち始めていることが差別化要因になる。日本では福井製造所に自動車向け専用ラインを増設するため、先行者利益が得られると考えている。

以上

#### ◆将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります。確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

#### ◆著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社 UACJ に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。